

木炭と薪の最需要期は来る

—ひろめよ増産に—

せばめよ消費に—

○本縣最近三ヶ年の普通木炭の平均生産量は三百七十萬貫程度でありまして、昭和十八年度の生産目標は三百二十八萬貫と決定し、一應地方事務所を通じて各町村に生産割當を行ひましたところ、現在までの成績は甚だ面白からず、即ち四月から十月までの生産總額は五十一萬三千餘貫で、昨年の同期に比して約五割、本年生産目標の一割五分七厘と云ふに憂慮すべき数字を示してゐるのであります。

○而してその原因は便利地方に於ける原木の不足、労力の不足、それに公道價格の關係など生産諸條件が悪いといふのが、その主たるものやうに思はれ、この際に於ける増産強化は困難であることは考へられますが何しろ皇國の興廢を決すべきこの決戦下に於て必要欲ぐべからざる數量は何とせよ確保せねばならぬのであります。生産に當られつゝある方々は、よくこの點に思を致して頂き、過般公布せられた薪炭増産出荷獎勵施設要綱に依るに割當數量に對して三割を越えたる場合には夫々率を定めて一俵當五錢より六拾錢迄に漸次増加して獎勵金を出し、又薪炭の搬出、空俵の回収に勤勞奉仕せる青少年團、學校、奉仕隊等に對しては報勞金を出し或は供出時に優秀なる者を表彰し一面政府に於ては從來最寄貨車乗價格なりしを生産地トランプ場買上に改め値上げ操作を行ふ等あらゆる方法を講ぜられつつある事をも考へ合はされまして目下最需要期を控へ早期増産に懸命の努力を捧げ製炭報國の實を擧げられん事を切望いたします。

○新について見ますにこれも木炭と同様であつて、各町村及林村會社に生産割當を行ひました、本年度本

縣生産目標五百七十萬貫に對し、矢張り努力不足、輸送關係等の理由により生産状況は依然面白からぬ状態にあります、前記薪炭増産生産出荷獎勵施設要綱を公布し、各家庭への最少限度の所要量確保に最善の努力を致しつつある次第であります、生産側の方々はこの際木炭同様奮つて多量生産早期生産に最善の努力を致されんことを望んで止みません。

○一方消費側の方々に申上りたいと思ひます、木炭及薪の生産は前述の通りであります、その増強並に之れが配給について萬策を講じつつあるのでありますから消費側の方々に於ては木炭や薪の生産について、生産側の方々がさんなりに努力せられつつあるかを深く認識せられまして例へ一塊の炭、一片の薪も断じて無駄せぬは勿論のこと木炭については代用炭使用等薪については枝葉落葉を代用する等各家庭夫々新工夫を凝すと共に町内會、部落會の隣保團結を中心として相助け相勵まし消費節約の上一點の遺憾なきを期せられたい存じます。

燦たり義勇軍

食糧増産の活舞臺に活躍

去る十二月四日から郷土奈良縣下に歸つて、十二箇町村の暗渠排水工事に挺身してゐるのは、内原訓練所に入所中のわが奈良縣から送出した滿蒙開拓青少年義勇軍奈良中隊一七五名の青少年である。

今春三月雄躍滿洲にわたる前、所外訓練を以て、郷土の土に奉仕の鉄を打込んでおこころ云ふ健氣な心意氣には、決して簡單な傍觀的難度で彼等を見過してはならぬ。

大滿洲國は大東亞戰爭を戦ふ日本へ積極的に食糧を補

給するを宣言した、日本政府も緊急國策十項目の中に第七項滿洲開拓民實施、を顯示し、去る十二月九日新聞で、米穀自給態勢確立の日滿間の折衝成る——農商省は發表した。

義勇軍はそこに行くのだ、軍需生産の大道に義勇軍は第一線を擔當するのだ、これから滿洲の米が来るこの朗報の中に、黙々としてやりまける義勇軍の姿を知らねばならぬ、しかも嚴肅にして、神の心で、彼等の鉄を聖鐵といふのは、こゝの意味がある。

こんな使命を持ち、國の爲に働く、そのホントの働き方を體得する義勇軍が、今我が郷土の爲に鉄を振ふるのだ。

波多野村、敵傍町、大字陀町、野原町をトツプに各所に巡回奉仕する、町村民諸君、義勇軍と共に鉄を打たう、義勇軍と共に國家の將來を語らう、ご協力のお心をブチ撒けて、感謝し、共に働いて下さい、義勇軍は食糧増産に、全身を挺しての暗渠排水です。郷土を思ふ眞摯の鉄です、もしも、簡單に、彼等を見てゐる人であつたら、一層よく彼等の仕事を見て下さい。

義勇軍父兄に告ぐ

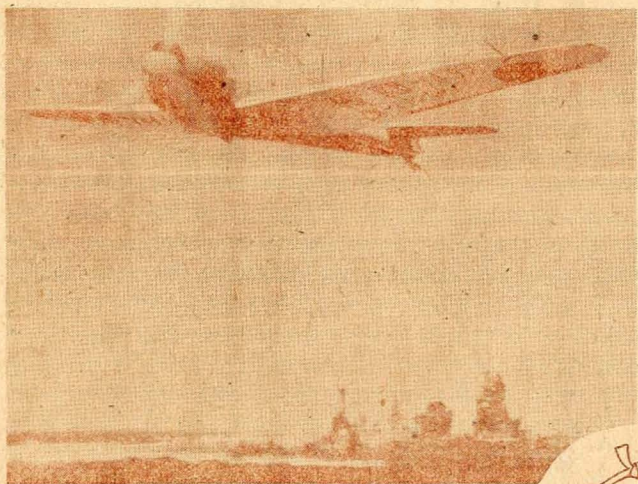
今、縣下へ奉仕に来てゐる義勇軍の父兄で、面會希望の方は、左記御了承下さい。

一、面會日は隊長より隊員に許可し、隊員はその日を直接父兄に通信しますから、その日に會ひに行つてやつて下さい。

一、その日以外は作業及隊の都合がありますから、面會に行つても、反つて御足勞をかけるだけになる時があります。

(地方課)

組隣の和の大



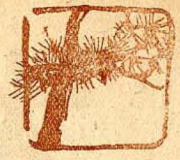
奈良縣獻納機「大和號」雄姿 (他軍機可憐)

この手で造つた飛行機が
この眼で送つた飛鷹が
あの驚天の戦果をあげたのだ
われらは
戦場をにらんでまつしぐらに
飛行機を造るのだ
あの飛鷹についでのだ

こゝに
大東亞戦下
三たびの春を迎へ
六十萬縣民氣喘と振ひ
力益々加はる
敵量を持めば
我亦量を以て應酬せむ
世界に比なき大戦果を
感謝するこゝにも
酔はず 弛まず
清爽にして 明朗なる
新年を壽ぎつつ
一路
米英完滅に進まむ



回	覧								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



昭和十九年を迎へて

奈良縣知事 澤重民
大政翼賛會縣支部長

大東亞戦争下、茲に三たびの春を迎へまして、六十萬縣民各位と共に、謹みて 聖壽萬歳を奉唱いたしたいと存じます。

開戦以來二年有餘、赫々たる大戦果は全世界を震撼せしめつゝあるのですが、新しき昭和十九年こそ洵に重大なる年であると思ひます。量を持つ敵國必死の反抗は、その頂點に達して、苛烈なる決戦に次ぐ決戦は、大東亞の全域に展開せられ、皇國は文字通り興廢の岐路に立つものと推斷いたされるのであります。

縣下には二千五百の部落會町内會、一萬三千の隣組が組織せられてゐますが、それは丁度一つの機械を構成する數多くの齒車のやうなものであつて、凡ての齒車が互に調子を揃へて夫々の任務を遂行してゆくとき、最高の能率を發揮するものであるやうに、隣保團結を根底とする部落會町内會隣組の活動は、實に縣全體を動かして行く、底つ力であり

の力であり其盤の組織であります。その活動する地域は廣からず、擔任する仕事は大でないとしても、負へる責務は斷じて輕少ではありません。

私はこの重大なる昭和十九年の初頭に當りまして、部落會町内會隣組を指導せられつゝある方々、並にその構成員たる縣民各位に對し、更に一段の奮起を促すと共に、その運営の上に於ても新しき企劃と新しき意氣によつて、一齊に總進軍を開始し、以て未曾有の國難突破に邁往せられんことを切に望んで止まぬ次第であります。

而して刻下奈良縣の急務とする處は食糧の増産、木材の増産供出等でありますが、これら何れも聖戦に勝ちぬくため絶対重要な事項でありますから縣民各位はその忠誠心に訴へて迅速且つ強力に實行に移さん事を期待致す次第であります。

「征戰第三年、總員戰鬪配置」

新たに迎へた今年こそ總反攻を企て、ある敵米英を必ず撃破すべき年である。今こそ國家の要請に應へて一億總出陣の決意を固め一人残らず戰鬪配置につき戦力増強目ざしで突進しよう。

イ、平時的な仕事にある人々はこの際飛行機、船舶その他の軍需工場などに進んで轉出し女子も挺身隊となつて生産戦場で戦ひ抜くこと。

前線の決戦は日毎に苛烈さを加へ、戦局は正に緊迫してゐる。何より先に敵を壓倒するだけの飛行機、軍艦、大砲なきをさししつくらねばならぬ。工場に在る者は盡く進んで増産に邁進しよう。まだ挺身隊に入らぬ女子は進んで挺身隊に参加しよう。

ロ、米麥を増産する爲めの土地改良をなし遂げ、また米や甘藷の供出割當量は必ず果すこと。

外米を運んだ船で軍需資材を運ばねばならぬ。今年の食糧事情は相當に緊迫することを覺悟しなければならぬ。米の不足分は麥、藜、雜穀などで補ひ、今年こそ食糧は國內で絶対自給なはう。

ハ、疎開を行ふ都市に住む必要の少い人々はこの際地方に移ること。

敵機の空襲は必至の状況にある。防空態勢を固めるため進んで都市の疎開に協力しよう。このため地方では疎開を行ふ都市(主として重要な大工業都市)に住んでゐる縁故者を引取り、またその人々のために家屋や空閒を提供するなごお世話をつくさう。

(以上本部ヨリ通達ノ分)

ニ、木材、木炭、薪の供出増産を圖ること。

木材は直接戦争に、木炭、薪は家庭燃料のみならず軍需品生産や自動車燃料として夫々多量に使用されて居ります。市町村に割當になりました木材、木炭、薪の生産數量は何が何んでも私達一同の手で一本でも多く一俵でも多く造り出し前線の兵隊さん達に安心して働いて戴きませう。又消費者の方々は一日一日を工夫節約し重要部面への供出に振り向けて御國に盡しませう。

勝つ爲めに 土地改良と増産

今度奈良縣も政府の方針に基き食糧増産の根本事業として、暗渠排水事業二千〇七十町歩、客土事業七百五十町歩、小用排水事業五千七百四十町歩、開田五町歩、農道三千五百間歩の各種事業を大體昭和十九年度中に完了せねばならぬのであります。

土地の改良が先づ第一

御存じの様に増産のもとは土地の改良が先づ第一です。これは分り易く言へば田や畑を改良すること、例へば人が入ればすぶ／＼腰迄入る様な濕田を、暗渠排水して、牛や馬も樂に入れる様な立派な乾田にするこゝや、砂地の爲めに收穫の少い耕地に、粘土分を入れて、土地を改良すること、又水路が悪い爲めに、用水の便の悪い處には、水路を新しく作るか、或は修繕する等、土地を改良する爲めの仕事ならさんな事でも結構です。そうして農家の方々に自分の田畑から一粒の食糧でも多く生産する工夫して戴き度いのであります。

暗渠排水

山間の耕地は一般に湧水が多く、又は平坦部にも湧水ある田地、低濕なる沼澤地の如き、地下水の高い田地は、地温が低く、稻の生育が悪い上に、收量、品質共に劣る缺點があり、かかる田地を改良するに最も効果適切なる工事が暗渠排水でありましてこの工事完成の上は米の收量が増し、品質が向上する上に、裏作として麥作が可能となり、土地の利用を著しく増進する上に畜力の利用に依り耕耘上の努力を節約し、生産費の低減にもなります。洵に効果顯著なる工事であります。

○材料は土管、粗梁、藁、竹等で工事は簡易であり、殊に學童等の勤勞奉仕等により粗梁の蒐集を圖ることも出来ます。

○工費は反當約七拾五圓位で、七割五分の補助があります。

客土事業

表土の淺過ぎるものや水もちの悪いところはもとより、土質が火山灰土、砂質土、泥炭土、重粘土なきの爲めに生産力の充分發揮して居らないところを改良する工事であります。粗鬆の土質には粘土を、粘土質の土質には砂質土を運搬客入して生産力の増強を圖るのであります。

○工費は土取場の遠近や客土量によつて違ひますが大體反當五拾五圓位で六割五分の補助があります。

小用排水事業

耕地の用水や排水の設備を新設又は改修するもので、今迄水害や旱害を受けて減收してゐた耕地がこの仕事に依り被害を受けずにすみ、それだけ増收三なるのであります。

この仕事を詳しく申せば

- 1、用排水路の新設、改修
漏水多き水路を石や三和土、粘土等で張る仕事
- 2、溜池の新設、改修
堤防からの漏水止
斜樋、底樋の修理
溜池さらえ(こみあけ)
水路や溜池のこみは肥料ともなり一石二鳥の効があるので時局に即したよい工夫であります。
- 3、井堰の新設、改修
掘井戸、突井戸、横井戸等
用水や排水を良くする工事であれば何でもよいのであります。

○工費には六割五分の補助があります。

右の他開田農道等の仕事がありますが何れも増産に役立つものばかりでありまして工費に對して五割の補助があります。